

聖愛

十二月号

原町聖愛保育園

二〇〇六年十二月一日発行

クリスマスが近づいてきました。各クラスには、クリスマスの飾りつけが少しずつ増えはじめました。子どもたちは、「あれはなに？」と関心を示しています。イエス様の御降誕を待ち望むアドベントに入りますが、子どもたちにもクリスマスが喜びの日であることを伝えられるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。

誕生日の言葉

十二月二十五日はイエス様の誕生日です。「人々は救い主イエス・キリストの誕生を、長い間待っていました。」が始まる、年長児がクリスマスに演じる『聖誕劇』は、イエス様の誕生の様子を表現するものです。クリスマスにはイエス様の誕生を記念して、世界中の多くの人々が同様に祝いを行います。私は二月の寒い朝、自宅で生まれました。自分が生まれた時の様子や家族の思い、周囲の方々の支えなどを、詳しいことは大人になってからですが、母から聞かされました。父と祖父は夜なべをしながら生まれるのを待っていてくれたこと。夜は冷え込み、翌朝明け方には雪になっていたこと。生後一週間のころに衰弱して、みんなに心配されたことなど…。話を聞いた時の、心穏やかで平安な気持ちは筆舌に尽くし難く、その感情は消えずに心の奥に留まり、いつでも鮮明に甦って心を満たしてくれます。

園では一人ひとりの誕生日にあわせてお祝いをしています。子ども達は自分の時を心待ちにしているようです。それぞれのご家庭でも、家族の誕生日には、特別な準備がなされることでしょうか。ぜひ、お子様の誕生日には、愛する大切な存在であることを、お父さんはお父さん、お母さんはお母さんの言葉で伝える言葉の準備も、誕生日の準備に加えて下さい。その言葉は必ずや、キーキやおもちや、ご馳走などに勝るプレゼントになるはずですよ。

心のこもった真実の言葉は、他の何ものにも阻害されずに子どもの心に届き、子ども自身の、「僕(私)は、僕(私)でよかった」という自己肯定感を育みます。毎年誕生日を迎えるたびに、お子様が誕生したときの様子や両親、家族みんなの喜び、その時々のお思い出などを話してやってください。

神様は、私たちを愛する存在として両親を通して生命を与えて下さいました。愛される尊い存在としてこれ以上のものではありません。 園長 遠藤美保子



12月の保育目標

主題 0・1・2・歳児「うれしいな」

3・4・5・歳児「わかちあって」

暗唱聖句 「今日ダビデの町で、あなたの方のために救い主がお生まれになった」 ルカによる福音書2章11節

	保育目標	保育内容	保育者の配慮
0歳児	保育者の賛美を聴いたり、クリスマスの装飾を見たりして雰囲気を感じる。	・散歩 ・お家遊び ・クリスマスに関する絵本を見る、賛美を聴く・なぐり描き ・追いかっこやかくれんぼ	・子どもたちがクリスマスの雰囲気を感じることが出来るように、保育者自身がクリスマス喜び、嬉しさが伝わるようにする。 ・戸外でのびのび遊べるように、追いかっこをしながら体全体を動かし、寒い時期でも外気に触れて過ごせるようにする。
1歳児	クリスマスと保育者と一緒に心待ちにし、一緒に遊ぶ。	・絵の具遊び(プレゼント作り) ・絵本からごっこ遊びへ ・空き容器で楽器作り、リズム遊び ・散歩(砂利道、坂道のぼり)	・クリスマスの準備を保育者と一緒に行い、家族にも伝わるよう工夫しながら、みんなで嬉しい気持ちになれるように配慮する。 ・友だち、保育者と一緒に踊ったり、楽器やリズムに合わせて動いたりすることを楽しんで、クリスマスの喜びを体全体で表現する。
2歳児	クリスマスの雰囲気を感じ、友だちと楽しみに待つ。	・クリスマスの絵本を見る、歌を歌う。 ・リズムに合わせて踊る。 ・くれよん、水彩画を描く	・絵本や室内装飾などで、いつもとは違う雰囲気を感じて、クリスマスに関心が持てるようにする。 ・クリスマスの音楽に親しみ、楽しく歌ったり体を動かしたりして、喜びを表現できるようにする。 ・じっくりと遊びに取り組めるように、一人ひとりに合わせて遊びを提供する。
3歳児	イエス様の誕生を知り、友達と一緒にその日を心待ちにする。	<室内活動> ・聖誕劇※2・演じる準備※1 ・クリスマスプレゼント作り※3 ポンポン(つき) オーナメント(ほし) 毛糸のペンダント(なみ) ・マフラー作り ・鎖編み ・年賀状作り ・切手集め、整理	・絵本などで子どもたちに分かりやすくイエス様の誕生を知らせ、アドベントカレンダーを使ってその日が来るのを楽しみに待てるようにする。 ・ルールのある遊びを保育者と一緒に行い、守って遊ぶことで面白さが味わえるようにする。※4
4歳児	イエス様の誕生を喜んでお祝いする。		・自分の役割を考え、友達と共に力を合わせながら、一つのことを作り上げる楽しさを体験できるようにする。※1 ・周りの人々に目を向け、クリスマス伝えたり喜んでもらったりするために、自分のできることを保育者と一緒一所懸命する。※3
5歳児	喜びのときを期待しながら、周りの人と分かち合うことの意味と大切さを知る。	<戸外遊び> ・集団遊び(グループ対抗)※4 ・縄跳び(一人跳び、長縄跳び)	・クリスマスの喜びを友だちと表現していく中で、自分の役割を考えて取り組めるように自主的な行動を見守り、必要に応じて援助する。※2 ・保育者の話や本、資料など通して世界中の様々な人々のことを知る。 ・みんなで決めたことに取り組み、喜びを分かち合うということがどういうことか感じられるようにする。

＜12月の予定＞

日(曜日)	園の予定	職員の予定
1(金)	長寿荘訪問 (ほし・つき)	
4(月)		実習生(2名)～12/15
5(火)	合同礼拝 (ほし・つき)	聖書研究 めぐみの会
6(水)	クリスマス祝会総合練習① 子育てサークル(レインボー)	職員会議
7(木)	小人の音楽会	構造化会議
8(金)	ポップコーン クリスマス保護者練習	年少会議 年長会議
11(月)	しゃりん梅訪問(ほし)	
12(火)	総合練習②	
13(水)	子育てサークル(ブーさん)	マネージャー会議
14(木)	総合練習③ クリスマス保護者練習	
16(土)	クリスマス祝会	
19(火)	遊藝練習	聖書研究 タラントの会 園内研修
20(水)	子育てサークル(レインボー)	企画会議
21(木)	小人の音楽会	
22(金)	しゃりん梅訪問(つき組)	
23(土)	天皇誕生日(休園)	
25(月)	お弁当の日	
26(水)	餅つき大会	
27(水)		給食会議
28(木)	保育終了(通常保育) ☆午睡布団、着替えを持ち帰り	
29(金)	年末休園(1月3日まで)	

◎保育開始 1月4日(木) 通常保育

長寿荘訪問 12月1日(金) つき・ほし組

6月の「花の日訪問」でお会いしたおじいさん、おばあさんに再び会いに出掛け、クリスマスの喜びを伝えてきます。

内容は、おどりを披露したり、うたや触れ合い遊びを通して交流してきます。

(8時30分までに登園、制服着用、天候に合わせて防寒着を持たせてください。)

餅つき大会 12月26日(水)

臼と杵を使つての餅つきは、子どもたちが楽しみにしている行事の一つです。炊きたてのお米の匂いを嗅ぎながら、少しずつ粒から柔らかいお餅になっていく様子を目の前でみます。

こんにやく作りなどの食育体験でも分かるように、食材が変化していく様子を目にすることで、子どもたちの食に対する関心も深まっています。昔ながらの手法で行うことを大切に、みんなで体験し、おいしいお餅を味わいます。

送迎の際の駐車について

寒くなると特に、エンジンをかけたままの車が多くなりますが、盗難防止、環境保全のためにもエンジンを止めて、カギは必ずロックするように心掛けましょう。以前、当保育園駐車場でも車上荒らしの被害がありましたので、ご注意下さい。

また、正門と教会前は、非常時のために常にスペースを空けておりますので、駐車なさらぬようくれぐれもご注意下さい。

(黄色の斜線部分は駐車禁止区域です。ご協力お願いします。)

原町聖愛保育園ホームページ



保育や行事などの様子をお知らせしています。どうぞご覧ください。

(尚、携帯からもご覧いただけます。)

アドレス：<http://www.ans.co.jp/n/seiai/>

《クリスマス祝会》 テーマ、「導かれて」

☆ イエス様の御降誕の嬉しい出来事を、たくさんの人にお伝えしたいと思います。

12月3日よりアドベントに入ります。保育園では、クリスマスに向けての準備を進めています。

私たちのためにお生まれになったイエス様。クリスマスの本当の意味を知り、みんなで喜びを持ってその時を迎えましょう。



『いつも私たちを見守ってくださるイエス様の訪れの喜びが、私たち一人ひとりの上に豊かにありますように。』

＜2006年度 クリスマス祝会＞

- ・日時 12月16日(土) Am9:00~Pm12:00
- ・場所 原町聖愛保育園ホール
- ・内容 9:00~ 礼拝(全園児、保護者、職員)
9:50~ 祝会(")

☆保護者の演じ物の練習は、8日(金)、14日(木)です。

時間 Pm7:00~

場所 原町聖愛保育園ホール

《クリスマスについて絵本を通して知りましょう》

貸し出し絵本に、クリスマスにちなんだ絵本を追加しました。是非、お子さんと一緒にご覧下さい。貸し出し日 毎週金曜日

喜んでクリスマスを迎えられるように

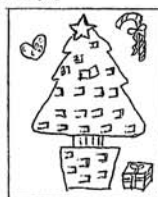
キリスト教の暦でクリスマスを心待ちにし、イエス様の誕生の日を迎える準備をする期間を、「アドベント=待ち望む」と言います。アドベントとは日本語で「待降節(たいこうせつ)」又は「降臨節(こうりんせつ)」といい、クリスマスの4週間前の日曜日から始まります。アドベントが始まると、クリスマスツリーを飾り、クランツ(リースの上に4本のろうそくを立てたもの)に灯をともします。クランツには、アドベントが始まる日曜日に1本のろうそくに灯をともし、日曜日に来る度に灯の数を増やしていきます。クリスマスが訪れる4週目の日曜日には、4本のろうそく全部に灯がともります。

園でも、室内にリースやクランツを飾り、それを囲み礼拝を行います。子どもたちが部屋の飾りつけからも、いつもと違う雰囲気を感じられるようにしていきます。みんなで一緒にクリスマスを楽しみに待つことが出来るよう、環境にも工夫し、イエス・キリストの誕生の日が喜びの日であることを伝えていきたいと思ひます。

☆クリスマスに飾るもの☆

◎クリスマスツリー

元々はもみの木の天辺にろうそくを灯すだけのシンプルなものでした。もみの木を用いるのは、寒さの中でも緑を失わない常緑樹が「永遠の命」を表すからです。



◎アドベントカレンダー

クリスマスのツリーなどの絵が描かれた台紙に1から24までの数字が書かれた窓がついていて、アドベントを迎えると一日ずつ開けていきます。

バザーのご協力ありがとうございました

地域の多くの方々にもお出でいただき、盛大に行うことができました。各クラスの役員の皆様はじめ、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。なお、売り上げは次の通りです。(12月1日現在)

収入 384,669円 支出 97,476円 残 287,193円